

地方独立行政法人大阪府立産業技術総合研究所 平成26事業年度業務実績に関する評価結果の概要

大阪府地方独立行政法人大阪府立産業技術総合研究所評価委員会
(事務局：大阪府財務部行政改革課)

地方独立行政法人大阪府立産業技術総合研究所の各事業年度の業務実績については、地方独立行政法人法に基づき、大阪府地方独立行政法人大阪府立産業技術総合研究所評価委員会による評価を受けることとなっており、平成27年8月31日に開催された平成27年度第3回評価委員会において、平成26事業年度の業務実績の評価結果が決定されました。

全体評価 「全体として年度計画及び中期計画のとおりに進捗している」

○ 4つの大項目全てにおいて、A評価（「計画どおり」進捗している）が妥当であると判断した。

○委員会コメント

「地方独立行政法人となってから3年目になり、顧客目線での新たなサービスが次々に開始されるなど、多様な企業ニーズに対応するための柔軟性が向上したといえ、技術支援を通して企業の課題解決に貢献していることは高く評価できる。これからも、サービス向上に向けた新たな取組みや研究所全体のレベルアップを図り、産技研の機能を更に充実させ、大阪の産業の発展に寄与していくことを期待する。」

住民に対して提供するサービス その他の業務の質の向上	S	A	B	C	D	「ものづくりリエゾンセンター」を新たに設置し、企業の技術課題の解決や製品開発の促進に寄与するなど、企業ニーズに的確に対応し、顧客目線でのサービスを実施した。 また、「ものづくり設計試作支援工房」の取組みや国家プロジェクトへの採択などが、外部から客観的にも評価されるなど、サービス向上に取り組み、中期計画を着実に実施していることが認められた。
業務運営の改善 及び効率化	S	A	B	C	D	経営企画室が中心となって、理事会・経営会議・四半期報告会等を運営する中で、法人運営の重要な方針決定や業務進捗の管理を行い、適切に組織マネジメントを進めた。 また、法人独自の人事評価制度の本格実施を行うとともに、総務事務システムを活用し、非常勤職員の事務手続きの電子化など事務の効率化を推進しており、計画どおり進捗していると認められた。
財務内容の改善	S	A	B	C	D	自己収入増加に向けた各種の取組、外部資金獲得のためのサポート体制を整備し、前年度を上回る収入となった。 支出面では予算の効率的・効果的執行により、1億7,220万円の当期純利益を計上し、財務内容の改善が着実になされていることから、計画どおり進捗していると認められた。
その他業務運営に関する重要事項	S	A	B	C	D	建物及び附帯設備の改修について、空調熱源改修工事をCM方式により業者選定するとともに、北側用地について、提案公募を開始した。 また、設備機器の計画的な導入・保守点検を実施し、法令順守と安全確保についてのコンプライアンス規程を作成した。また、情報セキュリティ体制の強化を行った。さらに、リスク管理上の規程順守を徹底したことから、計画どおり進捗していると認められた。

○ 評価区分

S：特筆すべき進捗状況 A：計画どおり B：おおむね計画どおり
C：やや遅れている D：重大な改善事項あり